

青森・岩手県北

高橋(八学大)ら4選手名乗り



高橋 優貴

プロ野球の新人選手選択会議(ドラフト会議)が25日午後5時から、東京都内で行われる。青森県関係では、八戸学院大の高橋優貴投手(東海大菅生高出)、

拓殖大の蔡鉦宇内野手(八学光星高出)、東日本国際大の有馬昌宏投手(青森北高出)の3選手、岩手県北地方関係では、盛岡三高の西館洗希投手(二戸中出)

がそれぞれプロ志望届を提出しており、動向が注目される。

高橋は茨城県出身で、八学大1年時から主力として活躍。最速152キロのストレートが持ち味の左腕で、今秋の北東北大学野球リーグでは現・西武の多和田真三郎投手(富士大出)の持つ、リーグ最多奪三振記録の299個を塗り替え、301個の新記録を樹立し

た。

蔡は台湾出身。八学光星高2年だった2014年に、春のセンバツ大会に出場。5番打者、一塁手としてチームの初戦突破の一役を担った。大学では、主に指名打者として活躍。

有馬はスリークォーターの左腕。青森北高3年時の14年夏の甲子園県予選では、4回戦で八学光星と対戦し、敗退した。西館は、最速144キロの右腕。盛岡三高の18年春の岩手県大会4強入りに貢献。夏の甲子園県予選では、大船渡に初戦で敗れた。

(金濱千優希)